

## 「第三者評価を受けて～事業者からのコメント～」

### 門司保育所みどり園

第三者評価の实地調査にそなえて、全職員が一つの目標に向かって意思統一ができ、その過程で先輩から引き継いできたものをチェックリストや文章に整理することで、自分たちの保育に少しばかり自信のようなものがもてたこと、「記録すること」の大切さを認識できたこと、が第三者評価受審の最大の効果でした。

良い評価を頂いたことに甘えることなく、悪い評価もありのままに受け入れ、今後さらに良質な保育サービスを提供できるよう全員で努力することが大事だと考えているところです。

今回の調査で指摘された新たな課題については早速検討し、下記により改善していく予定です。

#### ケース会議について

18年度からケース会議は毎月定例の保育会議後開催し、記録用紙の様式を定型化する。

#### 乳児保育について

平成18年度より乳児については担当制を導入し1年間を通して保育士が継続的に関わっていく。

#### 地域における役割・関係機関等との連携

市民センター等から幅広く情報を収集し、保護者や地域に向け発信していく。  
関係機関との連携については、今後は、園内での待受け体制ではなく、自治会や地域の団体のところへ積極的に出かけてゆき子育て支援の情報提供に一層努力していく。

#### 職員研修について

職場内研修については、研修内容が偏らないよう見直しをし、今後は「子どもの発達や援助」に関する研修を増やしていく。